# ケンブンスイッチ 3月号

## 最近話題の動画投稿系SNS、その特徴をご紹介

いまや情報発信やマーケティングに欠かせないSNS。
ここでは最近特に話題になっている画像・動画投稿系SNSを中心に、その特徴やユーザー層を調べてみました。

### TikTok（ティックトック）

2017年に登場し、瞬く間に若年層を中心に広まった動画投稿SNS。現在は国内で約1,700万人が利用しています。短い動画にBGMやエフェクトをつけて投稿できるのが特徴で、音楽やダンスなどのエンタメ系コンテンツが豊富。だれの投稿でも数百回は再生されるように工夫されているのが人気の秘訣です。

### Snapchat（スナップチャット）

画像・動画投稿SNSですが、こちらは個人やグループ内でのやりとりが中心。世界で7億5,000万人に利用されており（日本の利用者数は未公表）、写真をワンタッチでアニメ顔や子ども顔にする「レンズ」機能などが人気です。最大の特徴は、投稿が読めるのは1回限り、開封したら数秒で消えてしまうこと。そのため開封時のワクワク感があると同時に、返信へのプレッシャーが少なく気軽に使えます。

### Pinterest（ピンタレスト）

国内で約870万人、世界では4億5,000万人に利用されるアイデア収集型SNSで、主なユーザー層は20～40代。写真や動画を「ピン」と呼ばれるカード形式で保存し、興味あるものをテーマ別に収集できます。主にファッション、インテリア、料理、旅行などの分野でインスピレーションを得たり、アイデアを共有するのに使われています。

### note（ノート）

文章やマンガ、写真、音声を投稿できるプラットフォームで、会員数は約500万人、閲覧ユーザーは月間6,300万人に上り、コアユーザーは20～40代。気に入った作者を応援したり、関心あるテーマの記事をリコメンドされたり…と人やコンテンツと繋がる機能が特徴。記事を有料化することもでき、コンテンツで収入を得るビジネスモデルとして注目されています。